

令和 2 年度 事業報告書

社会福祉法人 大埴福祉協会
本 部

E-mail osone-fukushi-honbu@osone-fukushikyokai.or.jp
HP URL <http://osone-fukushikyokai.or.jp/>

令和2年度 社会福祉法人 大埴福祉協会

事業報告

令和2年度は、少子高齢化、核家族化の問題だけでなく、新型コロナウイルス感染症の流行による、生活行動や就業の制限によって、家庭環境の変化や貧困状態が進み、子育て家族の支援の必要性がますます高まっています。

国は、子育て安心プラン（令和2年度まで）をすすめ、保育サービスの充実を中心とした、子育て支援などの取り組みを強化していましたが、感染症予防対策による、外出等の活動制限によって経済の停滞、雇用の悪化等、多くの家庭において、子どもを取り巻く環境が大きく変化している状況の中、様々な制限によって、思い通りの支援や活動が行き届いていない状況が続いています。

エッセシャルワーカーに分類される保育施設は、日常生活における必要不可欠な社会経済活動を担当している、最も重要な機関であることから、新型コロナウイルス感染症の収束をより早く実現するために、施設内での感染予防対策及び各職員が感染リスクを減らすための行動や自己管理を徹底しながら、適切な施設運営と最大限の支援に取り組みました。

子育て支援拠点事業についても、来所できない状況や感染症予防の観点から、SNSを活用した、支援のサービスを展開してきたが、より細やかなサービスが提供できるよう、企画力や操作技術の向上も含め、積極的に取り組みを現在も進めています。

「南海トラフ地震」等に備えた防災・減災対策については、国及び高知県から防災対策をはじめとする、多くのガイドライン等が発出されていますが、そのほとんどが画一的な初動対応策に過ぎず、自施設において避難訓練を定期的に行い、既存のマニュアルを検証し、発災時のリスクを見つけ出し、再度検討を重ねながら、最新の災害対策構築に取り組みました。

また、社会福祉充実計画の事業である新築移転についても地震対策のひとつとしてとらえており、事業計画の進め方や行政との協力体制強化に努めました。

1. 法人の基本方針

(1) 法人全体の理念として

法人理念

「生きるいのち」「輝くいのち」を育むために

法人と職員は、法人理念を実現するために、常に品位を保持し、誠実に職務を遂行し、日々研鑽を積み、最善の努力をするものとする。

保育方針

慈愛と専門性により、仏性を持って生まれた一人ひとりの子どもを、健全に、たくましく、心豊かに生きる力の根を張ってゆく保育を目指します。

(2) 法人が取り組む事業（社会福祉法に基づき定款に明示）

第二種社会福祉事業

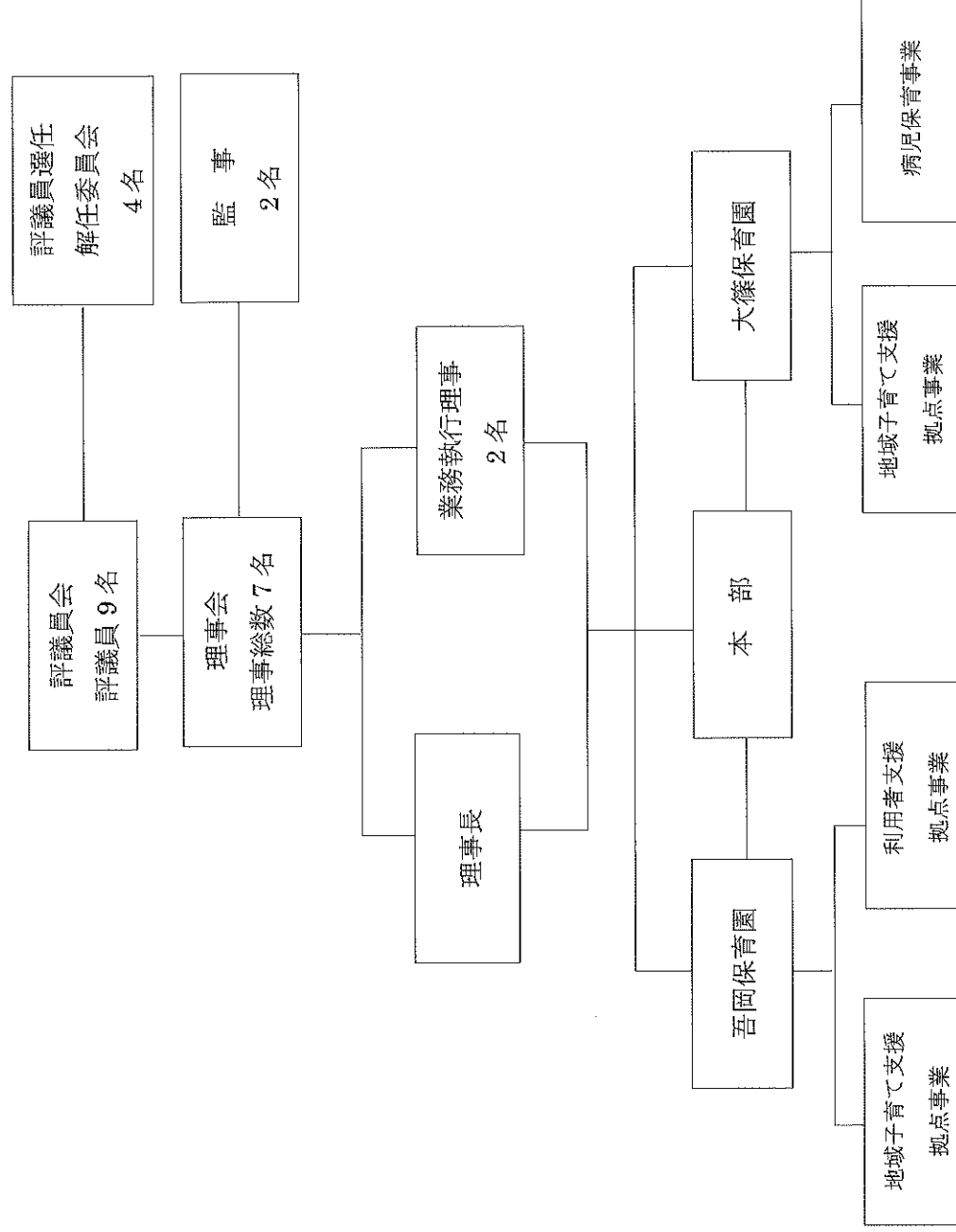
- (イ) 吾岡保育園の設置経営
- (ロ) 大篠保育園の設置経営
- (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営
- (ニ) 病児保育事業
- (ホ) 利用者支援事業

(3) 重点課題

【令和2年度 事業重点課題】

- ① 法令遵守・透明性のある法人運営
- ② 社会福祉充実計画への取組
- ③ 地域での公益的な取組
- ④ 防災・減災対策への取組
- ⑤ 職員の人材確保、育成、定着にむけた取組
- ⑥ 感染症予防対策

2. 組織体制



3. 理事会

令和2年度 理事会

第1回理事会	令和2年6月5日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他		無	
第1号議案	令和元年度 本部、吾岡、大篠保育園事業報告承認の件				
第2号議案	令和元年度 本部、吾岡、大篠保育園収支決算承認の件				
第3号議案	令和2年度 第1回定時評議員会開催の件				
その他	理事長及び業務執行理事の職務執行の報告				

第2回理事会	令和3年1月29日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他		無	
第1号議案	令和2年度 第1次資金収支補正予算（案）承認の件				
第2号議案	有期契約職員の契約更新の件				
その他	理事長・業務執行理事の職務状況についての報告				

第3回理事会	令和3年3月30日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他		無	
第1号議案	令和2年度 第2次資金収支補正予算（案承認）の件				
第2号議案	令和3年度 事業計画（案）承認の件				
第3号議案	令和3年度 予算（案）承認の件				
第4号議案	任期満了に伴う理事・監事の候補者推薦の件				
第5号議案	任期満了に伴う評議員候補者推薦の件				
第6号議案	評議員選任・解任委員会開催の件				
第7号議案	給与表改定の承認の件				
その他	第1四半期スケジュール				

4. 評議員会

定時評議員会・・・・・・・1回

第1回定時評議員会	令和2年6月20日	評議員総数（8名）	欠席：1名
理事長：佐竹和照 業務執行理事：佐竹玉衣（吾岡園長）・高村由（事務長）・理事：松下千穂（大篠園長）・監事：荒川儀恵・尾立洋一（事務局）			
場 所：大徳寺 本堂			
第1号議案	令和元年度 計算書類・財産目録等の承認の件		
その他報告事項	令和元年度 事業報告の件 社会福祉充実計画変更の報告		

5. 内部監査結果（監事監査）

令和3年5月24日（月）に当法人の監事による、令和2年度 事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

事業報告及び理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実もなく、計算関係書類及び財産目録についても、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正であることが確認された。

6. 外部監査

令和3年5月24日（月）に岡田税理士事務所による令和2年度 決算諸表の監査を実施した。

計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと確認された。

社会福祉充実残額について、社会福祉充実残額算定シートにおける社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等に係る控除の有無の判定と、事務処理基準、事業に活用している不動産等、再取得に必要な財産、必要な運転資金の再計算を行い、社会福祉充実残額について、再計算を行った上で、社会福祉充実計画における社会福祉充実残額と突合した結果、一致していることを確認された。

7. 令和2年度 研修・勉強会

月 日	主 催	研 修 内 容
9 月 8 日	高知県社会福祉法人 経営者協議会	令和2年度高知県経営協事業について ① 新型コロナウイルス対応について ② 社会福祉をめぐる動向について 「社会福祉法人経営と働き方改革」 ③ 法改正による働き方改革の影響と対応策 ④ 健康配慮の勤務 勤務間インターバル制度 ⑤ 多様な働き方と同一労働同一賃金への対応 ⑥ 高知県福祉、介護事業承認評価制度について
10 月 6 日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 オンライン会議	令和2年度高知県経営者特別セミナー 「福祉施設・事業所の新型コロナウイルス対策」 ●「高知県経営協の新型コロナウイルス対策について」 ●「福祉施設・事業所の新型コロナウイルス対策」 講師：吉川清氏（土佐希望の家医療福祉センター長、高知県感染症対策協議会長、医師） ① 新型コロナウイルス感染予防 ② 新型コロナウイルス感染発生時の対応 ③ 保健所や行政の支援内容

10月27日 ～ 10月28日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 オンデマンド研修	「正しく恐れるコロナ禍における福祉サービス」 ① 感染症に関する事前準備 ② 新型コロナウイルスに関する全国経営協の取組 ③ コロナ禍の福祉サービス 「未来志向で考える事業展開はここがキモ」 「コロナ禍における人材対策のカギ」
12月3日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 WEBセミナー	【ICTチーム】 福祉分野におけるICTの現状と可能性

8. 主な取組

○ 透明性のある法人運営

内部管理体制を強化するために、役員の役割や権限、責任の範囲等を再確認した上で、改正社会福祉法及びその他の通知等に従い、定款及び諸規程等について適宜見直し、運営状況や現況等についてもホームページ等を活用して広く社会に公開。

役員を対象に、改正社会福祉法の概要、定款、社会福祉法人の運営、計算書類、報告書様式等についてビデオ研修会を開催。

○ 吾岡保育園新築移転

令和元年度～令和9年度の社会福祉充実計画の吾岡保育園新築移転事業については、対象として
いる土地について、南国市役所建設課をはじめ、子育て支援課及び都市整備課と2回の協議を
行い、当該土地について、建築法並びにその他の関連法に照らしあわせ、建設可能な場所であ
るか、また土地取得の交渉援助について打ち合わせを行った。

結果、建築法についての接道や幅員等の問題は現時点においては無いことを確認。南国市と
連携の強化を進め、地権者交渉を段階的に進めている。

できるだけ早い段階で、譲渡についての確約を書面にて求めることを検討している。

○ 「南のおにわ」第2次整備事業

平成29年度社会福祉充実計画にて、第1次整備した、「南のおにわ」について、未開発部分
の約200㎡の整備に取り組んだ。

安全防止柵の設置と排水対策を施したのち、東側部分90㎡を食育プログラムの一環として耕
作地を配置し、残り110㎡を地域子育て支援拠点事業の利用者等にも活用していただける憩い
の場として遊歩道と芝生エリアを設け、すべての整備を完了した。

○ 法改正に準じた就業規則・規程・規則・協定等の改善

労働法改正による規則等の見直しや対応について、社会保険労務士の指導を受けながら、対応に努めた。運営管理において、労使間での問題等も生じることなく、スムーズな運営を行えた。その他の法改正に伴う就業規則及び育児・介護休業等に関する条文改正等については、令和3年度中に変更申請できるように取り組みをスタートさせた。

働き方改革法の年次有給休暇の取得はルール化されており、取得に関しても推奨している、同一労働・同一賃金については、賃金決定ルール・基準を明確化（客観化・透明化）する職務や能力等と賃金などの待遇水準との関係性を明確化、能力開発機会の均等・均衡等についても、社労士の助言を受けながら進めている。

○ 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの実施義務化に伴い、社会福祉法人大埔福祉協会は、地域福祉ニーズに即した、各施設が積極的に実践している子育て支援や地域活動等、既実践している地域の向けた取組についてホームページを利用し公開。

子育て支援事業については、ZOOMを使った音楽界や交流の場となる配信に注力。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外部での活動については中止または、自粛となった。

○ 人材確保への取組

慢性的な保育士人材不足の対応として、ハローワークのみならず、福祉専門の求人サイト、法人ホームページ等、インターネットを通じた求人を行ったが、新卒での希望者がおらず、今後の求人方法等について課題が残った。

○ 防災・減災対策について

昨年度見直した、南海トラフ地震に備えたBCP計画Ver. 4について、想定に対応できているか避難訓練を通じて検証、適切でない項目についてはひとつひとつ改善を行った。

被害想定についても、図上訓練にて震度や天候など、様々なケースについて検証を行いVer. 5にまとめるための準備を行っている。

○ 感染症予防対策

新型コロナウイルス感染症予防に関する、セミナー等に積極的に参加し、適切な予防対策や運営等について、最新の情報収集に努めた。

感染症予防対策として検温器、マウスシールドや消毒液等の手配

勤務時の検温及び体調チェック

補助金等を活用した、施設内での感染予防対策（ウイルス除去空気清浄機・衛生管理用品等を設置）

職員に対して、生活行動の制限を要請

行事や講習会、参観日等における対策については、各施設において開催の是非、規模の縮小等を含め、検温や消毒の方法及び保護者の協力体制等、行事ごとに検討するように指導。